



NEWS



CONTENTS

- ・島根大学病院の新型コロナウイルス感染対策について(11月～12月)
- ・一次脳卒中センターの認定について
- ・日本環境感染学会感染制御支援チームの登録メンバーとなりました
- ・島根大学医学部における研修会・講演会・セミナー開催情報



日本環境感染学会

感染制御支援チームの登録メンバーとなりました

感染制御部 副看護師長 いしとび えみ
石飛 映美

この度、日本環境感染学会からの要請により、感染制御支援チームの登録メンバーとなりました。この感染制御支援チームは、日本環境感染学会が厚生労働省からの委託を受け、中小病院・高齢者施設などでの新型コロナウイルス感染症に対する院内・施設内感染対策を支援する役割を持っています。自治体、厚生労働省からの要請を受けて、感染対策の専門医師・看護師が現地に派遣され、派遣先の施設職員の方と共に施設の感染対策支援を行うものです。



県内医療機関の感染対策の専門者が不在の施設へ派遣され、現地で个人防护具着脱や、基本的な感染対策を指導・教育することや、患者発生時のエアゾーニング、物品の管理など感染発生時の感染対策の指導などを行うこととなります。このことは、年1回開催されます。島根県感染対策ネットワーク会議においても紹介され、島根県の感染対策チームとも連携を図っていくことが報告されました。

新型コロナウイルス感染症が日本国内で発生してから、すでに1年近くが経過しており、この間に発出された情報や対応策を基に、各施設で感染対策を実施している状況です。派遣要請時にはこれらの情報や専門知識に加え、依頼先の施設で実践可能な対策を検討・提案できるようにしたいと思っています。

島根大学医学部における研修会・講演会・セミナー開催情報

2020年 12月15日～2021年 1月14日
対象者: 一般 一般市民 医療 医療関係者 本学 本学教職員・学生

| 開催日 | 開催名 | 場所(★印 学外開催) | 対象者 | 主催者 |
|-------------------------|-------------------------------------|-------------------------------|-------|--------------------------------|
| 12/15(火) 9:30～11:30 | 2020年度 島根県がんピアサポーター相談会 | 外来・中央診療棟3階 がん患者・家族サポートセンター | 一般 | 島根大学医学部附属病院 がん患者・家族サポートセンター |
| 12/19(土) 14:00～15:30 | 市民公開講座 「ウィズ・コロナ～新型コロナウイルスがいる環境～」 | 看護学科棟1階 N11講義室 | 一般 本学 | 島根大学医学部 環境保健医学講座 |

詳細については、医学部・附属病院ホームページ【研修会・講演会・セミナー】をご覧ください。



島根大学病院の 新型コロナウイルス感染対策について

11月~12月

感染制御部 部長 もりた えいしん 森田 栄伸、専従医師 じょう ゆみ 城 有美
COVID-19検査センター センター長 やの しょうぞう 矢野 彰三

新型コロナウイルス感染症については、国内では8月に第2波のピークを超え、10月以降は国内移動の制限、海外からの入国制限が緩和されました。しかし、11月には国内で連日2,000人以上の新型コロナウイルス新規感染者が報告され、第3波を迎えています。こうした中、季節性インフルエンザの流行を迎える時期となります。新型コロナウイルス感染症はインフルエンザと症状が類似し、いずれも感染力が強いいため、医療施設では発熱・気道感染症状を示す患者での両者の迅速な鑑別が求められます。

これまで当院ではCOVID-19センターを設置し、新型コロナウイルス感染が疑われる患者さんには抗原検査あるいは核酸検査が適用できる検査体制をとってきました(図1)。また、全身麻酔下手術が予定される患者、県外からの受診患者・入院患者については、新型コロナウイルスPCR検査を行い、院内感染防止を行っています。さらに、感染注意地域から帰県した職員や学生についてもPCR検査あるいは10日間の在宅勤務・在宅学習にて対処しています。

出雲圏域では新型コロナウイルス感染症とインフルエンザの流行に備え、11月1日から診療・検査体制の再整備が行われました。当院は新型コロナウイルス感染症の重症患者を受け入れる役割を担いますが、今後は救急外来などへの発熱・気道感染症状を示す患者さんの受診機会が増えることが予測されます。これに対して当院では図2のような検査体制を予定しています。まず鼻咽頭ぬぐい液を採取し、インフルエンザ、COVID-19診断にそれぞれ抗原定性を用いて迅速判定を行います。エスプライン判定が陰性でも新型コロナウイルス感染を強く疑う場合には鼻咽頭ぬぐい液にて核酸検査(ミュータスワコー、GeneXpert、ライトサイクラー)を行います。発症9日以内では唾液採取検体にて核酸検査(この場合GeneXpert、ライトサイクラー)も可能です。12月1日以降では唾液検体を用いた抗原検査(ルミパルス)が使用可能となる予定です。

当院では新型コロナウイルスと季節性インフルエンザの両方に対応できる検査体制にて、県民の皆様が安心できる医療を提供して参ります。

図2 インフルエンザ/COVID-19を疑う有症患者の対応体制
参考:厚生労働省「新型コロナウイルス感染症(COVID-19)病原体検査の指針(第1版)」

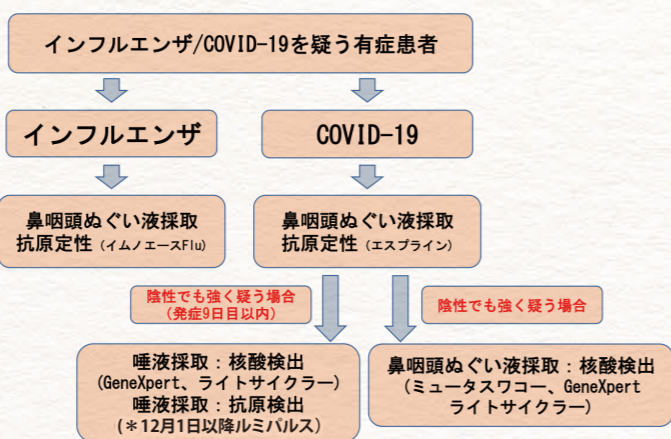


図1 本院の新型コロナウイルス診断用検査(採用予定を含む)

| 検査項目 | 検査法 | 適用検体 | | | 測定開始 |
|-------|-------------------|---------|--------|---------|---------|
| | | 鼻咽頭ぬぐい液 | 鼻腔ぬぐい液 | 唾液 | |
| 抗原検出法 | 簡易迅速抗原定性(エスプライン) | ○条件付き* | ○条件付き* | × | 運用中 |
| | 簡易迅速抗原定性(イムノエース) | ○条件付き* | ○条件付き* | × | 2021年以降 |
| | 全自動検査(ルミパルス) | ○ | ○条件付き* | ○条件付き** | 12月1日以降 |
| 核酸検出法 | RT-PCR法(ライトサイクラー) | ○ | ○条件付き* | ○条件付き** | 運用中 |
| | RT-LAMP法 | ○ | ○条件付き* | ○条件付き** | 運用中 |
| | 全自動検査(ミュータスワコー) | ○ | ○条件付き* | × | 運用中 |
| | 全自動検査(GeneXpert) | ○ | ○条件付き* | ○条件付き** | 運用中 |

条件付き*: 無症状者では推奨されない。
条件付き**: 発症から10日目以降は推奨されない。



一次脳卒中センターの認定について

高度脳卒中センター センター長 教授 はやし けんたろう 林 健太郎

高齢化に伴い脳卒中は増加してきており患者数は250万人以上にのぼり、年間約12万人が脳卒中で亡くなっています。また、寝たきりや要介護の原因として最も多い疾患であり喫緊の課題となっています。2019年12月に脳卒中对策基本法が施行され、日本脳卒中学会と自治体が協力して診療体制の整備も進められています。脳梗塞の急性期の治療は血栓溶解薬rt-PAを静注して閉塞した血管を再開通させる治療法の有効性が確認され、発症3時間以内という時間制限も発症4.5時間に延長されました。ただし、rt-PA静注療法が適応となるのは脳梗塞の患者の10%以下という実情もあり、救急搬送や受け入れ体制が問題となっています。その取り組みの一つとして一次脳卒中センター〔Primary stroke center (PSC)〕が設定され、島根大学病院も認定されました。PSCの認定条件は次のようになっています。

- ① 地域医療機関や救急隊からの要請に対して、24時間365日脳卒中患者を受け入れ、急性期脳卒中診療担当医師が、患者搬入後可及的速やかに診療(rt-PA静注療法を含む)を開始できる
- ② 頭部CTまたはMRI検査、一般血液検査と凝固学的検査、心電図検査が施行可能である
- ③ 多職種からなる脳卒中チームと専用の病床を有する
- ④ 脳卒中診療に従事する医師が24H/7D体制で勤務している
- ⑤ 脳卒中専門医1名以上の常勤医がいる
- ⑥ 脳神経外科的処置が必要な場合、迅速に脳神経外科医が対応できる体制がある
- ⑦ 機械的血栓回収療法が実施出来ることが望ましい
- ⑧ 実施できない場合には、血栓回収脳卒中センターや包括的脳卒中センターとの間で、機械的血栓回収療法の適応となる患者の緊急転送に関する手順書を有する
- ⑨ 定期的な臨床指標取得による脳卒中医療の質をコントロールする

島根大学は血栓回収療法を施行できる脳神経血管内治療専門医が5名在籍しており、24時間体制で対応しています。地域の先生方とも連携して多くの脳梗塞の患者さんに治療を受けて、回復していただけるように取り組んでいます。



ご報告

島大病院ニュース 2020年12月

細胞診検体のみでも網羅的遺伝子解析ができる検査を先進医療で実施しています!!

呼吸器・化学療法内科 教授 いそべ たけし 磯部 威
 講師 つばた ゆかり 津端 由佳里
 先進医療管理センター 助教 なかお みか 中尾 美香

肺腺がんの半数以上で、がんの発症に関わるドライバー遺伝子変異を有することが知られています(図1)。2004年に上皮成長因子受容体(EGFR)変異に対してゲフィチニブが有効であることが報告されて以降、非小細胞肺癌に対するドライバー遺伝子をターゲットとした分子標的治療薬が次々と開発・承認され(図2)、肺癌治療の大きな柱となっています。

現在、進行非小細胞肺癌の初回治療薬の選択前には、診断時に採取したがん組織を用いて、EGFR、ALK、ROS1、BRAF 遺伝子変異の有無を検査します。しかし、すべての遺伝子変異について調べるためにはがん組織がたくさん必要となり、組織量が足りない場合はすべての遺伝子変異の有無を検査できず、再度の検査が必要とされるなど患者さんに不利益を与える場合もあります。そこで、十分な組織量が採取できなかった場合でも、細胞診検体を用いてドライバー遺伝子変異の有無をしっかりと調べることができるような手法が求められます。

当科では、10月1日より、肺がんの診断時に採取した細胞診検体を用いて、複数のドライバー遺伝子変異の有無を一括に調べる先進医療(技術番号:A-22、技術名:細胞診検体を用いた遺伝子検査)を開始致しました。本技術により、今後益々適切にプレジジョンメディシンを実施できるようになることを期待しています。肺がんが疑われる方や、本技術をご希望される患者さんがいらっしゃいましたら、是非当科までお問い合わせください。

問合せ先 呼吸器・化学療法内科 TEL: 0853-20-2580

図1. 肺腺がんのドライバー遺伝子変異の割合

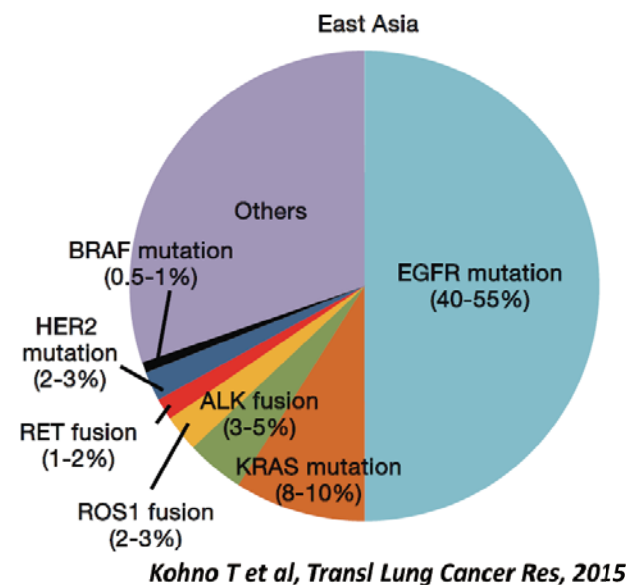


図2. ドライバー遺伝子変異と対応する治療薬剤一覧

| ドライバー遺伝子 | 承認薬剤 |
|----------|-------------------------------------|
| EGFR | ゲフィチニブ、エルロチニブ、アファチニブ、オシメルチニブ、ダコミチニブ |
| ALK | クリゾチニブ、アレクチニブ、セリチニブ、ロルラチニブ |
| ROS1 | クリゾチニブ |
| BRAF | ダブラフェニブ+トラメチニブ |
| MET | カプマチニブ、テポチニブ |



お知らせ

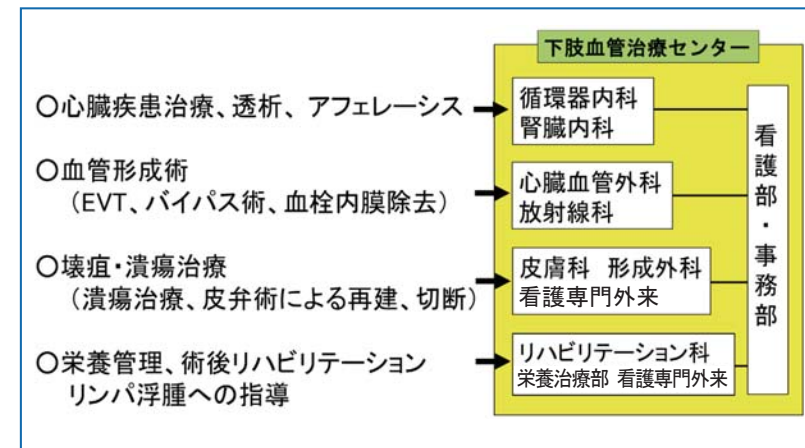
島大病院ニュース 2020年12月

下肢血管治療センター設立のご案内

下肢血管治療センター センター長 もりた えいしん 森田 栄伸
 副センター長 にいほら ひろゆき 新原 寛之

閉塞性動脈硬化症、下肢静脈瘤、リンパ浮腫などの下肢循環不全疾患の患者は年々増加しています。下肢の循環不全により浮腫、皮膚・軟部組織の炎症、潰瘍、間欠性跛行、壊疽などの症状が生じ、患者QOLは大きく低下します。動脈、静脈、リンパ管のいずれの循環不全によっても上記の症状を生じることがありますが、当院ではこれまで関連診療科(皮膚科、放射線科、心臓血管外科、循環器内科、腎臓内科、形成外科など)が個々の症例に個別に対応してまいりました。しかし、脈管の循環不全の診断や治療には複数の診療科が関与する必要がある場合が多く、また全身臓器に影響が見られる場合もあり、迅速かつ適切な診療には関連する診療科が統合した対応を行うことが求められます。このため、当院では本年11月から下肢血管治療センターを設立し、下肢循環不全疾患に関連する診療科が密接に連携して最適な治療を行う体制を整備しました(図1)。また、下肢切断症例の急性期治療終了後のリハビリテーションの実施や栄養管理、リンパ浮腫への指導も患者のQOL向上には欠かせません。

図1 当院の下肢循環不全への対応と下肢血管治療センターの構成



本センター化により下肢循環不全症の症例集積と臨床研究、新規治療法や先進医療の実施なども期待されます。さらに情報発信により下肢循環不全症の予防、早期発見・早期治療介入による下肢切断の回避にも貢献できるものと考えます。



2020年12月発行
 編集・発行 島根大学医学部附属病院「病院ニュース」編集委員会
 問合せ先 島根大学医学部附属病院 医療サービス課 医療支援(地域医療)担当
 TEL: 0853-20-2068 FAX: 0853-20-2063

◆島根大学医学部附属病院 ホームページ <https://www.med.shimane-u.ac.jp/hospital/>



2020年12月発行
 編集・発行 島根大学医学部附属病院「病院ニュース」編集委員会
 問合せ先 島根大学医学部附属病院 医療サービス課 医療支援(地域医療)担当
 TEL: 0853-20-2068 FAX: 0853-20-2063

◆島根大学医学部附属病院 ホームページ <https://www.med.shimane-u.ac.jp/hospital/>





島大病院ニュース 2020年12月

ご報告



クリスマスイルミネーション点灯式を行いました

総務課

当院では、入院中の患者さん、小児患者さんに寒い冬の夜を少しでも楽しく温かい気持ちで過ごしていただけるように、毎年、冬の到来とともに庭園をイルミネーションで飾ります。

2020年11月19日(木)、クリスマスには少し早いですが、長い期間イルミネーションを楽しんでいただくため、ひと足早くクリスマスイルミネーション点灯式を行いました。

最初に井川病院長から挨拶があった後、うさぎ保育所の子どもたち全員で大きな声でカウントダウンし、「点灯!」の掛け声と同時にイルミネーションが光り輝きました。「わぁー」という歓声が湧き上がり、子どもたちは光の美しさに目を輝かせていました。そして、みんなでイルミネーションを見ながら、うさぎ保育所の子どもたちが「あわてんぼうのサンタクロース」「赤鼻のトナカイ」を元気いっぱい歌ってくれました。

次に、看護師のハンドベルチームによるクリスマスソングが披露され、澄んだ音色にみんなが耳を傾けました。

終わりに、井川病院長と田中看護部長の二人のサンタさんから子どもたちにプレゼントが手渡され、みんな喜んで受け取っていました。

例年、小児病棟の子どもたちにも参加してもらっていますが、今年は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、病棟から点灯式の様子を見てもらいました。

庭園のイルミネーションは年内いっぱいお楽しみいただけます。幻想的な光の世界をどうぞご堪能ください。



島大病院ニュース 2020年12月

お知らせ



「そっくり!」、「よく見るこの人…誰だっけ?」 ほっこりします!市民ギャラリー 細田 滋氏 にながお絵展

展示期間: 11月4日~12月23日(作品の入れ替え2回予定)

総務課企画調査係 係長

いまわか しゅうこ
今若 修子

おなじみの俳優さんから今年の顔までずらり

生き生きした表情の絵の数々、もうご覧になられましたか。2020年11月4日~12月23日の間、にながお絵画家の細田 滋氏による、表情豊かな著名人の「にながお絵」15点を、B病棟一階C病棟への渡り廊下にある市民ギャラリーに展示しています。

作者・細田 滋氏について

作者の細田 滋さんは1953年雲南市大東町生まれの元県職員。1980年代から似顔絵が登場する1コママンガを描かれ、2009年から現在まで「シゲルのにながお」というタイトルで島根日日新聞にながお絵とコラムを連載中(月1回)です。1985年の島根県総合美術展デザイン部門で金賞を受賞。これまでに松江市、出雲市、雲南市で似顔絵展を5回開催されています。

楽しみ方いろいろ

絵を見て、「顔は知っているけど…、ん〜、誰だっけ、名前が思い出せない!」ということもありますよね。これは誰だろう?と推測するのも、脳トレになりますし、一緒に見ている方と絵を味わって、感想を話すのも良いコミュニケーションになります。

作品の下には、タイトルと作者による解説が付けてありますので、誰なのか答え合わせをした後、作者の含蓄のある解説もあわせて楽しんでいただけます。

そして鑑賞後に、「自分でもにながお絵を描いてみようかな」とペンをとってみるのも素敵ですね。

高い作画力の中に鋭い視点と軽妙な感覚

並んでいる作品を見てみると、それぞれ表現方法やタッチが違うのに気が付きます。また、モデルの著名人の表情だけでなく、纏っている雰囲気までよくとらえられ、写真よりもその方の特徴や、内面まで出ているようにも見えます。

作品の中には、風刺画風もあれば、持ち味全開で描かれ「そうそう、こんな感じだよ」と、おもわずクスツと笑いがもれる絵もあります。しかし、それぞれが作者の温かな視点で描かれたことが感じられ、どの作品からも優しさが伝わってきます。

描くのにさぞかし時間がかかるのではと、細田さんにお尋ねしたところ、「首相のにながお絵3部作は、昨晚ささっと描きました。」とのこと。さすが、達人です。

にながお絵で癒されてハッピーに!

細田さんのにながお絵を見ただけでなぜか心がほっこりし、いつの間にか笑顔になって、元気が出てきます。年末の慌ただしさもしばし忘れて、今年を振り返りながらゆっくりにお楽しみください。

※展示期間中、作品の入れ替えが2回予定されています(入れ替え時期は未定)。



2020年12月 発行
編集・発行 島根大学医学部附属病院「病院ニュース」編集委員会
問合せ先 島根大学医学部附属病院 医療サービス課 医療支援(地域医療)担当
TEL: 0853-20-2068 FAX: 0853-20-2063
◆島根大学医学部附属病院 ホームページ <https://www.med.shimane-u.ac.jp/hospital/>



2020年12月 発行
編集・発行 島根大学医学部附属病院「病院ニュース」編集委員会
問合せ先 島根大学医学部附属病院 医療サービス課 医療支援(地域医療)担当
TEL: 0853-20-2068 FAX: 0853-20-2063
◆島根大学医学部附属病院 ホームページ <https://www.med.shimane-u.ac.jp/hospital/>





ご報告



職員による環境整備ボランティア活動を行いました

会計課施設管理室

毎年、当院の環境整備は、地域のボランティアの方々に定期的にお世話いただいたり、業者に委託して行っていますが、4年前から、職員学生のボランティアによる環境整備も実施しています。今年は、コロナの影響もあり、活動をためらっていましたが、島根県でのコロナ感染状況が落ち着いていることもあり、11月14日(土)の開催にて、今年初めて募集したところ、医師をはじめ、医療職、事務職の50名もの参加がありました。

今年初めての開催で、思いがけずたくさんの参加がありましたので、急遽、作業範囲を広めて整備を行うこととしました。当日は、穏やかな晴れた天候となり10時～11時までの間、井川病院長、鬼形医学部長以下職員により、臨床研究棟・第二研究棟周辺の落ち葉拾いと草刈りで、11月中旬にしては大変気持ちの良い汗を流し、すがすがしい1日となりました。

コロナ禍ではありますが、今後も感染に配慮し、環境整備ボランティア活動を積極的に行い、当院の美化を維持するよう努めてまいりますので、ご理解・協力いただきますようよろしくお願い致します。



ご報告



第43回解剖体慰霊祭を執り行いました

総務課

10月15日(木)、医学部体育館にて、第43回解剖体慰霊祭が執り行われました。この慰霊祭は、医学の教育・研究のために尊い御遺体を御提供くださいました方々を慰霊するもので、例年御遺族及び御来賓の皆様にご参列いただいているところですが、今年は新型コロナウイルス感染症の影響を受け、本学教職員及び学生のみで執り行うこととなりました。

当日は、教職員や医学科2年生等、約150名が参列し、黙祷を捧げたあと、並河徹医学科長が、令和元年10月から令和2年9月までに御献体くださいました156名の芳名録を祭壇に拝納いたしました。続いて、鬼形和道医学部長が、「解剖実習を通して、学生は医学知識だけでなく、生命の尊さ、生命への畏敬の念、そして人と人の繋がりの大切さを学び、医療人としての使命感を確認いたします。御献体を賜った方々の崇高な御遺志と、御遺族の皆さまの尊い御理解に対し、畏敬の念を持って感謝の誠を捧げます。」と慰霊の言葉を述べました。また、学生代表が、「解剖学実習で得た知識と精神を忘れず、さらに真摯な態度で医学の道を歩んでいくことを誓います。」と感謝の言葉を述べました。

その後、参列者全員で献花を行い、御献体くださいました故人のご冥福をお祈りし、閉式となりました。





ご報告

各種学会賞 受賞 おめでとうございます

2019年6月から2020年10月の間の、各種学会賞の受賞者についてご報告します。

所属・職・氏名：器官病理学 助教 長瀬 真実子
学会名等：第128回日本病理学会中国四国支部スライドカンファレンス
賞の名称：優秀演題賞 受賞年月：2019年6月

所属・職・氏名：腫瘍・血液内科 医科医員 藤本 亜弓
学会名等：第59回日本リンパ網内系学会総会
賞の名称：優秀演題賞 受賞年月：2019年6月

所属・職・氏名：クリニカルスキルアップセンター 講師 狩野 賢二
学会名等：Asia's Leading Healthcare Simulation Conference (Singapore)
賞の名称：Best Poster Award (Education and Research Category) 受賞年月：2019年10月

所属・職・氏名：呼吸器・化学療法内科 医科医員 御手洗 裕紀
学会名等：第121回日本内科学会中国地方会
賞の名称：若手研究奨励賞受賞 受賞年月：2019年10月

所属・職・氏名：麻酔科 助教 本岡 明浩 他
学会名等：第15回日本医学シミュレーション学会学術集会
賞の名称：優秀演題賞 受賞年月：2020年4月～5月

所属・職・氏名：放射線科 医科医員 河原 愛子
学会名等：第79回日本医学放射線学会総会
賞の名称：Cypos 賞 プラチナ 受賞年月：2020年6月

所属・職・氏名：器官病理学 助教 長瀬 真実子
学会名等：第61回日本臨床細胞学会総会春季大会
賞の名称：スライドカンファレンス優秀賞 受賞年月：2020年7月

所属・職・氏名：腎臓内科 助教 福永 昇平
学会名等：第32回日本老年医学会中国地方会
賞の名称：若手奨励賞 受賞年月：2020年10月

所属・職・氏名：皮膚科 助教 中川 優生
学会名等：第72回日本皮膚科学会西部支部学術大会
賞の名称：「西日本皮膚科」雑誌賞 受賞年月：2020年10月

所属・職・氏名：腫瘍・血液内科 医科医員 藤本 亜弓
学会名等：第81回日本血液学会学術集会
賞の名称：奨励賞 受賞年月：2020年10月



ご報告



小児病棟イベント クレープを食べよう



チャイルドライフスペシャリスト ^{くろさき} 黒崎あかね
^{つばき あつみ おがわ こずえ}
小児センター病棟保育士 椿 敦美、尾川 梢

“クレープ屋さんのクレープが食べたいなー”

先日、ジラフクレープさんが、小児病棟入院中の子どもたちと家族のために、キッチンカーできてくれました。長期入院や治療をしている子どもたちは、我慢していることがたくさんあります。ショッピングモールに行くことや、映画を観に行くこと、クレープを食べに行くことなど、日常的なあたり前のことができません。また、治療を優先した生活をしているため、食欲がなかったり、治療への意欲も低下してしまう傾向にあります。

新型コロナウイルス感染症の防止対策を徹底したうえで、ジラフクレープさんのご協力のもと、“クレープが食べたい”という何気ない子どもたちの会話から、今回のイベントが開催されました。

参加した子どもたちは「おいしかったよー」と、笑顔いっぱい話してくれました。ご家族からは、「部屋からでて、こんな楽しいお散歩ができてよかったです。」「入院してからずっと、食欲がなくて心配してたんですけど、クレープはぺろりと食べてくれました。」など、うれしい報告がたくさんありました。今回のイベントは、クレープをただ食べるという意味だけでなく、入院中の子どもたちへ多くの喜びと笑顔を届けることができました。具体的には、入院中の食事は頑張って食べないと病気が治らないという思いがありますが義務感なしに食べたいクレープを楽しく食べることができたと思います。そのことで、入院中の生活に対するストレスが軽くなり、子どもながらに治療への前向きな意欲が出てきただけでなく、自分の食べたいものが食べられるという子どもの自己肯定感を高めることができたことと実感しています。今後も、入院している子どもたちの日常（当たり前）を大切にしながら、入院生活を支えていきたいと思っています。

最後になりましたが、今回の子どもたちの思いを快くお引き受けいただきました、ジラフクレープ出雲店の皆様にご心より御礼申し上げます。





ご報告

島大病院ニュース 2020年12月

胃切除後消化管再建例の胆膵疾患に対する小腸内視鏡による診断と治療

消化器内科 診療科長 教授 いしはら しゅんじ
石原 俊治

消化器内科は、胃腸などの消化管、胆道や膵臓、肝臓（肝臓内科）などにおける様々な疾患を扱う診療科であり、先進的な高度医療を担うとともに地域医療へ貢献することを目的としています。近年、消化器内科の分野では胆膵疾患が増加してきており、これらの疾患への対応は重要なポイントとなっています。胆膵疾患としては、胆嚢や胆管の結石、胆管炎、胆管癌、膵炎、膵癌などがあり、これらの疾患の診断や治療（結石除去、胆管炎や黄疸の軽減など）のために様々な内視鏡手技が必要となります。その検査や処置数は2019年には年間400例に達しています（図1）。

内視鏡的な診断・処置の中でも、胃切除後消化管再建症例に合併した胆膵疾患に対しては小腸バルン内視鏡を用いることとなり（図2）、その施行に際しては専門的な知識と経験が必要となります。私共は約10年前より小腸バルン内視鏡を用いた胆膵疾患へのアプローチを開始し、その症例数は急速に増加し2019年には年間110例に達しています（図3）。現在では、緊急例を含めた症例を県内の多くの施設からご紹介いただき、重症の胆道感染症については高度外傷センターのハイブリッド手術室で緊急対応にもあたっています。

その他、胆膵疾患に対しては超音波内視鏡を用いた高難度の処置もおこなっており、今後も大学病院としての機能を果たすべく診療に従事していきたいと考えています。

図1. 内視鏡的逆行性胆管膵管造影・治療件数

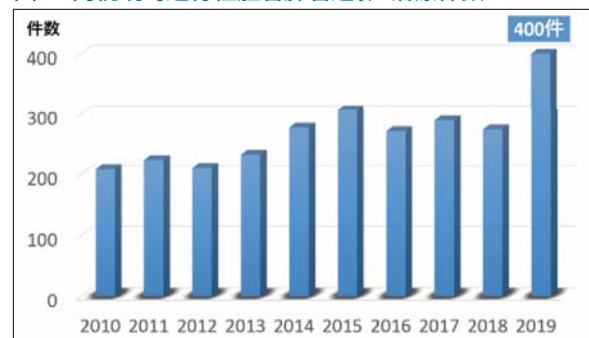
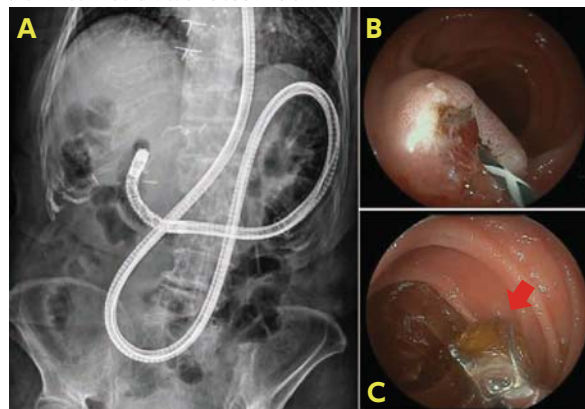
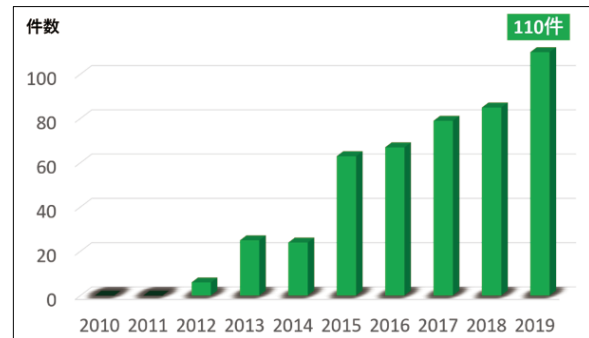


図2. 胃切除後消化管再建例



A:小腸バルン内視鏡を挿入 B:十二指腸乳頭を切開 C:総胆管結石(矢印)を除去

図3. 小腸バルン内視鏡による検査・処置数



ご報告

島大病院ニュース 2020年12月

術中腸管血流を視覚的に評価する術式を行っています

消化器総合外科 助教 まつばら たけし
松原 毅

島根大学医学部消化器・総合外科学教室では、悪性腫瘍を中心に安全かつ精度の高い手術を行い予後の向上に取り組んでいます。消化器癌（食道癌、胃癌、大腸癌など）の手術では所属リンパ節に加えて腫瘍を含む腸管を切離することになり、自ずと消化管の再建が必要となります。病院当たりの手術症例数や術後合併症の有無が予後に影響することが分かっており、消化管再建の合併症である縫合不全をいかに予防するか、ということは患者さんにとっても外科医にとっても命題と言えるでしょう。

消化管再建で最も重要となるのは局所の組織酸素化を決定する腸管血流と考えています。これまでは外科医の主観的評価（血管の拍動や切離断端からの出血など）で判断し消化管吻合を行っていましたが、この方法では縫合不全の危険性を的確に評価できないと報告されています。そこで我々はインドシアニングリーン（以下ICG）を用いて評価する術式を行っています。ICGは2018年に血管および組織の血流評価を目的として薬事承認・保険適用されました。ICGを術中に投与すると腸管血流の評価がリアルタイムで視覚的に可能となります。より安心・安全に消化管吻合を行うことができ合併症の予防に大きく貢献しています（図1、2、3）。

今後も“都道府県がん診療連携拠点病院”として予後の向上に努め地域に貢献したいと考えております。今後ともご支援・ご協力の程、何卒よろしくお願い申し上げます。

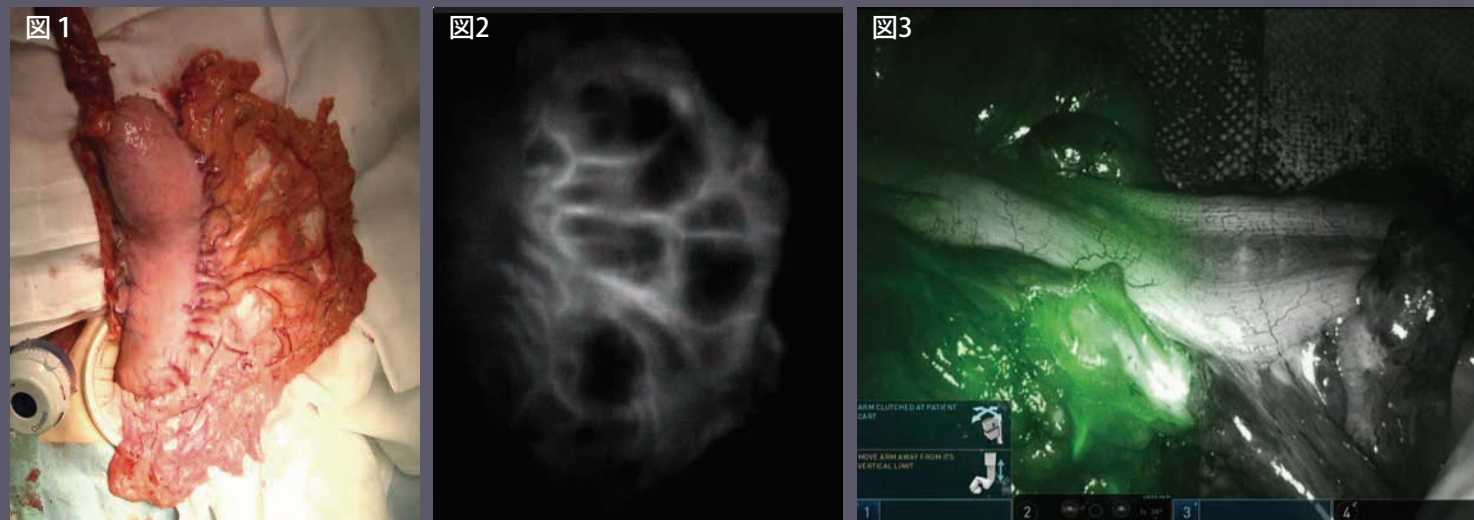


図1 食道癌手術における胃管再建術中写真
大網の血流を温存することが目的となる。

図2 食道癌手術における胃管再建術中写真
ICG投与により大網内に血流が温存されていることが視覚的に確認できる。

図3 大腸癌手術における術中写真
ICG投与により腸管血流が温存されている腸管が視覚的に確認できる。



2020年12月 発行
編集・発行 島根大学医学部附属病院「病院ニュース」編集委員会
問合せ先 島根大学医学部附属病院 医療サービス課 医療支援（地域医療）担当
TEL: 0853-20-2068 FAX: 0853-20-2063
◆島根大学医学部附属病院 ホームページ <https://www.med.shimane-u.ac.jp/hospital/>



2020年12月 発行
編集・発行 島根大学医学部附属病院「病院ニュース」編集委員会
問合せ先 島根大学医学部附属病院 医療サービス課 医療支援（地域医療）担当
TEL: 0853-20-2068 FAX: 0853-20-2063
◆島根大学医学部附属病院 ホームページ <https://www.med.shimane-u.ac.jp/hospital/>

